学校番号	312

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校「標準　文学国語」　（第一学習社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、「文学作品を読む」ことを通して、文章の読解力・鑑賞力を身につけます。
・さまざまな文章にふれることで、基本的な国語力だけでなく「正しい日本語」「美しい日本語」を使えるようにするとともに、自分の思いや考えを伝えるための表現力を深めましょう。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。授業中のノートについては、板書を丸写しするのではなく、自分なりに理解したことを盛り込んで書くようにしましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（２）論理的に考える力や豊かに想像したりする力を伸ばし、自分以外の他者の思いや考えを正確に理解したり、深く共感したりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとする態度を養うとともに、常に他者を思いやりながら他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」,「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	本との再会を繰り返すたびに実感される「私」の変化を読み取る。 ［教材］ 「旅する本」（角田光代）	a：常用漢字を習得し、語彙を豊かにするとともに、文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解している。 b[読]：内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 c：作品全体における「その本」の意味について、各時期の「私」の受け止め方を踏まえて粘り強く読み解こうとしている。	課題提出 定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 ノート提出	授業態度 振り返りシート ノート提出
	瓢箪に対する考えの違いを通して、価値判断や評価について考えを深める。 ［教材］ 「清兵衛と瓢箪」 （志賀直哉）	a：常用漢字を習得し、語彙を豊かにするとともに、文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解している。 b[読]：・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 c：当時の物価を積極的に調べたうえで、瓢箪の価格がどんどん上がっていくことの意味について、自分の考えをまとめようとしている。	課題提出 定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 ノート提出	授業態度 振り返りシート ノート提出
	解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ［教材］ 「ひよこの眼」 （山田詠美）	a：常用漢字を習得し、語彙を豊かにしようとしている。 b[書]：最後の段落の「私」の思いについて、自分の考えを文章にまとめる。 c：表現に注意しながら場面の展開を読み取り、「私」の幹生に対する心情変化を捉えようとしている。	課題提出 定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 ノート提出	授業態度 振り返りシート ノート提出
	「僕」の発言の背景にあるものを理解する。 ［教材］ 「バグダッドの靴磨き」 （米原万里）	a：常用漢字を習得し、語彙を豊かにするとともに、文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解している。 b[読]：・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 c：時系列に沿って登場人物間の関係や心情を読み取り、「僕」の発言の背景を理解しようとしている。	課題提出 定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 ノート提出	授業態度 振り返りシート ノート提出
2	物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情をつかむ。 ［教材］ 「こころ」（夏目漱石）	a：文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解している。 b[読]：物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情をつかむ。 c：象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。	課題提出 定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 ノート提出	授業態度 振り返りシート ノート提出
3	主人公にとっての「卒業」の意味を考える。	a：常用漢字を習得し、語彙を豊かにするとともに、文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解している。	課題提出 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 振り返りシー

	［教材］ 「卒業」(魚住直子)	b[書]:・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 c:寿々の仕事に向き合う態度や友人への思いの変化を粘り強く読み取り、「卒業」という題名の意味について、自分の考えをまとめようとしている。	小テスト	ノート提出	ト ノート提出

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　５０　）時間